

<株式会社エフエム東京 第370回放送番組審議会>

1. 開催年月日:平成22年7月6日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社10階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数7名(社外7名 社内0名)

◇出席委員(6名)

青池 慎一 委員長	横森 美奈子 副委員長
渡辺 貞夫 委員	内館 牧子 委員
秋元 康 委員	西田 善太 委員

◇欠席委員(1名)

香山 リカ 委員

4. 議題:

【番組名】「LOVE = Platinum 恋愛パズル」

【放送日時】毎週金曜日21:00～21:30 放送 (2010年7月2日(金)放送分)

【番組概要】

戸田菜穂、香椎由宇、芦名星、木南晴夏、鈴木亮平、鹿賀丈史らホリプロ所属タレントが総登場。単体番組の枠には収まらない豪華な顔ぶれが実現した7月スタートのラジオドラマです。とある結婚式会場に居合わせた男女の13の恋愛エピソードから成る一話完結型で、ブライダルプロデューサー役の戸田菜穂の案内で物語が進行します。

この番組は、開局40周年のTOKYO FM、創業50周年ホリプロを記念して企画し、プラチナ・ジュエリーの国際的な広報機関プラチナ・ギルド・インターナショナルに提供して頂いています。

「婚活」が流行語になるなど、20代女性の間で結婚ブームといわれています。長引く不況のために結婚はある種のリスクヘッジ、保険の意味もあるとも言われていますが、結婚が人生での一大イベントであることはいつの時代も変わりません。

結婚にまつわる人生模様、悲喜こもごもをラジオドラマ化。笑いあり、涙あり、喧嘩あり。そんな人生ドラマをリスナーと一緒に味わうコンテンツとして企画しました。

ラジオドラマ『LOVE=Platinum 恋愛パズル』は、とある結婚式会場に居合わせた男女が織り成す13の恋愛エピソードで構成されます。結婚披露宴に居合わせた人た

ち(たとえば、新郎の父親と新婦同僚席に座る謎の女性占い師とか)が、それぞれの立場なりに味わう人生の機微。若い新郎、新婦だけでは語りつくせない人生模様。後悔、悔恨、寂しさ、嬉しさ、涙……。そんな表情を描いていきます。

脚本は、川端康成賞候補作家であり、フジテレビ系テレビドラマ『恋ノチカラ』、映画『重力ピエロ』、また来月公開の『東京島(桐野夏生原作)』の相沢友子が担当。また、COTTON CLUB、STB139など、都内ジャズクラブで活躍のジャズヴォーカル&ギターユニット、プライドプライドがサウンドトラックを書き下ろししています。なお、番組はポッドキャストでも配信。ツイッター等、ラジオならではのネット連動でロコミを図り、DVD。サウンドトラック、脚本集。映画など、派生コンテンツの開発を進めていきます。

< 試聴時間:約24分 >

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

- 楽しく聞かせていただいた。脚本も面白くて、登場人物の動きも良くわかった。途中で、狂言回しが誰なのかわからなくなり混乱する部分もあった。参考になる結婚式のスピーチがここから拾えるといいなと思った。
  
- 非常に上質な脚本で、演出もとてもいい。音楽の使い方もさすがで、クオリティがすごく高い。しかし、「だから何なんだろう」という印象を持った。これだけいろんなコンテンツがある中でこれを選ぶ人はいるのだろうか？自分がこの時間に家にいて、これが聞きたいと思っつけることはないな、と思った。予定調和な内容。たとえば、NY のオフブロードウェイで役者が結婚式を演じ、そこに参列するかたちで観客が観る、というものがあつたが、それくらいの新しいことをやらないと、結婚式ネタは散々いろんなところでやっている。スピーチだけで構成するとか、個人的には、他のラジオ局で毎日15分間、旬の女優に日替わりで出演してもらう結婚式ネタのドラマをやったことがあるが、それくらいフックになるものが無いと、このドラマはあまりにも上質すぎて聞ききっかけがないのではないかと思う。たとえば、どこかの地方で、地元の職人がこだわって作っている良いカバン屋があつても、誰かの紹介がないとそのカバンをわざわざ買いに行こうとは思わない。それと同じように、自分からこの番組を聞きたいと思っきっかけがない。企画上、それが弱い。たとえば、「余命一ヶ月の花嫁」は「余命一ヶ月」が乗ったことであれだけヒットするきっかけになった。要は、この結婚の企画に何が「乗っている」のか？ということだが、でも残念ながら乗ってなくて、非常にいい話なのだが、よくある話が続いている。これに対して、リスナーの意見を求めたり、CD 化や映画化してワンコンテンツ・マ

ルチユースする予定という割には、弱すぎる。放送外収入はそんなに甘くは無い。海外からも面白いコンテンツがたくさん入ってきている中で、このドラマは王道すぎて、選ばれないと思う。もっと攻撃的に作ったほうがいい。クオリティはとても高いが、狙っているところがもったいないように思う。

- これだけクオリティの高いラジオドラマが良い時間帯に放送されていることは、脚本家としてとても嬉しいこと。相沢さんはすばらしい脚本家。今後どうなっていくのかは分からないが、この一回に限って感想を言うと、予測がついてしまう内容。面白い展開にはなっているが。登場人物が全員うっとうしいのが難点。主人公のキャラがうっとうしいばかりではなく、その友人や新郎までもうっとうしく思えてくる。途中リアルなのか、コメディなのかわからなくなる部分がある。また、後半のセリフが説明過多。新婦の友人が新郎のことを好きだったことをあそこまで説明するのは饒舌すぎる。プランナーの戸田さんの役が良く分からなく、もったいない。やり方としてはもっと面白くなるはずなので、今後に期待している。
- 内容やセリフが自然ではなく、聞き辛かった。話自体が時代に合わないような気がした。セリフや BGM など、ドラマ中の全部の音がやけにオンなのが気になった。耳障りで遠近感が無い。マイクのセッティングなどにもっと気を使ったほうがいい。
- 声優やアナウンサーではなく、顔が想像できる役者さんが出演していると、聞いていてストーリーにふくらみがでて楽しめた。個人的には、ガールズトークの延長として、楽しめた。恋愛や結婚について、普通に興味を持てる要素は入っていたと思う。他愛無い話こそ面白かったりする。他愛無いガールズトーク楽しく聞いていた感じ。プラチナを連呼する感じが若干気になった。リスナーからアイデアとかエピソードを募集する取り組みは面白そう。一般の人の体験談は意外に面白い。
- 結婚式会場における多様な人間関係がもっと描かれていると面白いと思った。もっと入り組んだ群像劇が楽しめるかと思って期待していた。個人的には新婦に魅力を感じられなくて、入り込めなかった。リアリティもなくなってしまい、もっと興味を持てるように、魅力的に描いていただきたいかった。今後の発展に期待している。
- 2 話以降にも毎回意外な登場人物や仕掛けを予定している。今回の意見を参考によりブラッシュアップしていきたい。
- 大ヒットしているアメリカのドラマでも1話目から3話目くらいまではつくりが違ったりして、シーズン4くらいから面白くなるものもある。まだ1話目を聞いただけなので、

いささか期待しすぎの感想だったかもしれない。意外と4話目くらいから魅力的になるかもしれない。

- ちゃんと聞いてみると面白い内容だが、「選ぶ」という視点ではどうだろう？毎週聞いてくれる固定ファンはできるのでしょうか？エピソード募集にはリアクションがあるのだろうか？注目度的にはどうなのだろうか？せっかくこういうトライをしているのに、スルーされてしまいそうな感じがもったいない。1回目を聞いて2回目を聞こうとは思わない。敢えて苦言を呈するが、結婚式や通夜を舞台にした群像モノはやり易いし、他のメディアでも散々やりつくしている。その中で人の注意を惹く宣伝文句を出すのは難しい。せっかく高い制作能力やキャスティング力を持っているので、エッジを立ててまっとうにやる方法を考えたほうがいい。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放 送:番組「JOGLIS SUNDAY」  
7月25日(日) 5:00～7:30 放送
- ② 書 面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回審議会9月7日(火)に開催することを決めた。

以 上